

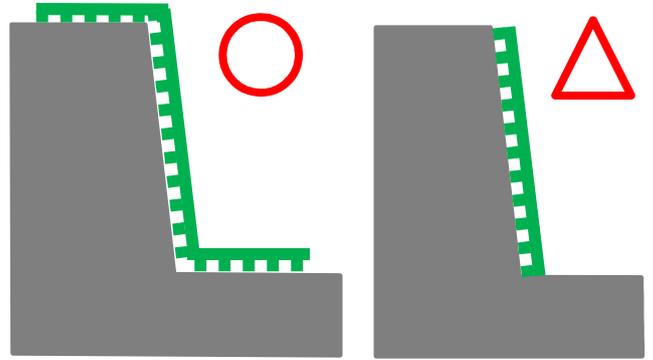
ウナギ用簡易魚道の設置方法

事前準備

魚道の設置場所を決める
堰の高さを計測し、魚道のサイズを決める
河川管理者に相談・申請し、占用許可を取得する



設置場所は川の端やなるべく水量が少ない場所(湿っていれば良い)を選ぶ



壁面だけでなく上下にZ字状に設置する方がウナギが利用しやすい

芝マット簡易魚道の設置方法

※設置時間は1.5mあたり2名で1時間程度

材料等

- ・ジョイント式人工芝マット(30cm×30cm)魚道サイズに合わせて枚数を準備
- ・結束バンド(芝の連結部を補強)
- ・オールアンカー(長さ6cm 直径6mm程度 ステンレス製推奨)
- ・ワッシャー(直径2cm程度 ステンレス製推奨)
- ・工具: 振動ドリル, ハンマー, レンチ(又は電動ドライバ+ソケットビット), ハサミ
- ・その他: 水を堰き止めるビニールシートなど



爪を穴に入れて連結



結束バンドで連結部を補強



ビニール等で水量を減らすと作業しやすい



芝面を表にして設置(裏面の突起の間をクココ~100gサイズまで利用可能)



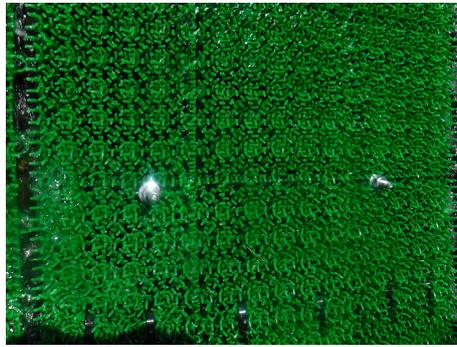
振動ドリルでオールアンカー指定サイズの下穴を空ける



ハンマーでオールアンカーを打ち込む



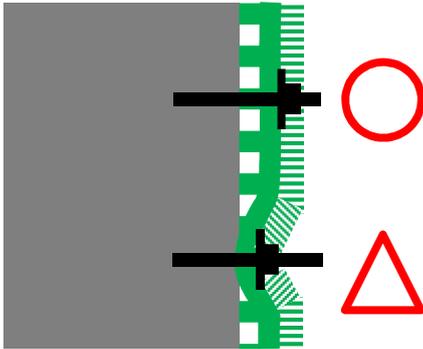
レンチや電動ドライバで締め付ける



芝マット1枚につき2~4本で固定



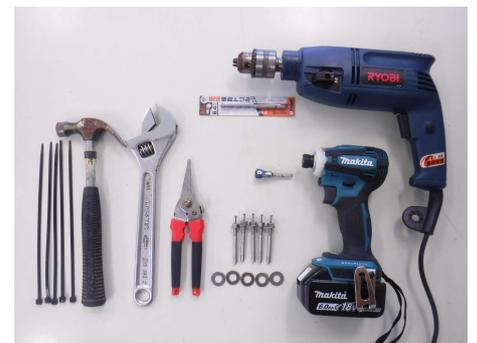
芝マット上端部は多めに固定



ウナギは壁と芝マットの間を登るので
圧着しすぎない



設置例(マットを2本並べて幅60cmにしている)



工具等一式

増水で破損・流出する場合の対策

対策1: 一時避難

梅雨や台風接近時は一時的に取り外す



※オールアンカーを打っておけば芝マットの脱着作業は容易

対策2: 補強

L型マルチアングルや亀甲網で補強



※上端部をL型マルチアングル、表面を亀甲網で補強する

対策3: 金網魚道の設置

材料等

- ・ステンレス製メッシュベルトSタイプ(線径2mm 厚さ20~30mm程度) ※金網業者に特注
- ・マルチフラットバー
- ・その他(オールアンカー, ワッシャー, 工具等)は芝マットと同様



マルチフラットバーで金網の上端, 下端, 壁面を固定

遡上性能は芝マット魚道と同様